

SUPERBIKE **EX**tra, EXpert and EXtreme
EXPRESS--

QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW



悪天候のため予選は決勝日朝に順延 逆襲を狙う中須賀克行 VS 連勝したい高橋巧

全日本ロードレース選手権は、ここ宮城県・スポーツランドSUGOでシリーズ第3戦を迎えた。開幕戦筑波は、J-GP2、J-GP3、ST600、第2戦鈴鹿2&4では、JSB1000のみの開催だったため、今シーズン初めて全クラスが勢ぞろいするラウンドとなった。土曜日は朝から雨模様となり、MFJ CUP JP250、そしてJ-GP3クラスの公式予選が行われた後、コースを霧が覆いセッションは中断。その後、天候は回復せず、残念ながらJSB1000、J-GP2、ST600の公式予選は中止となり、日曜日朝に行われることになった。またMFJ CUP JP250は、レースが中止となり、公式予選の結果でハーフポイントが与えられることになった。

木曜日の特別スポーツ走行から始まったレースウィーク。JSB1000クラスは、40分のセッションが2本行われたが、雨が降ったり止んだりする不安定なコンディション。その中で、秋吉耕佑が1分29秒136でトップタイム。2番手に1分29秒425をマークした加賀山就臣、3番手に1分29秒428の中須賀克行、4番手に1分29秒453の高橋巧と僅差で続いていた。

野左根航汰は、先週スロバキアで行われた世界耐久選手権のテストから帰国したばかり。今回のレースを終えた翌日となる月曜日にドイツに飛び、オーシャスレーベン8時間耐久に参戦するというハードスケジュールの真っ直中だが、1分29秒836

で5番手につけた。また、先週行われたMotoGP™第4戦スペインに参戦した津田拓也も水曜日に帰国し、その足で仙台に入る、こちらもハードスケジュールで木曜日は、10番手となっていたが、金曜日にはペースアップしてくる。

金曜日は、好天に恵まれ朝から気温も上昇。お昼を過ぎると冷たい風が吹き、気温も下がってくるが、まずまずのコンディションの中、各ライダーはマシンのセットアップに勤しんだ。

1本目の走行でトップタイムをマークしたのは、鈴鹿2&4のウイナー高橋巧だった。真っ先に1分27秒台に入れ、ニューHonda CBR1000RR SP2で積極的な走りを見せる。中須賀が1分28秒035、加賀山が1分28秒389、野左根が1分28秒443、山口辰也が1分28秒654、秋吉耕佑が1分28秒847、津田が1分28秒975と続いていた。

2本目には、ほとんどのライダーがタイムアップ。ここでソフト目のタイヤを履いた中須賀が1分27秒534をマークしてトップタイム。「事前テストもなかったですし、SUGOを走るのも久しぶり。何より今年から変わった17インチタイヤにマシンを合わせ 切れていないのが現状です」と苦戦気味だと言う。2番手には、1分27秒590をマークした津田、3番手に1分27秒648の高橋巧とニューマシンで中須賀を追う二人が続いた。1分27秒905の野左根航汰を挟み、

加賀山就臣、秋吉耕佑のダンロップ勢も調子を上げてきている。加賀山は、5月28日(日)に開催されるCEV RFMEスペイン選手権第2戦カタルニアにチームメイトの浦本修充と共にSUZUKI JEG Racingからスポット参戦することを発表。パッケージは全日本と同じくニューGSX-R1000Rにダンロップとなるだけに、こちらでの活躍も注目されることだ。

また、今回は、鈴鹿8耐に向けたトライアウトのセカンドステージも兼ねており、その権利獲得に挑むのは8チーム。中には、鈴鹿2&4レースで転倒したモリワキ清成龍一／高橋裕紀組、そしてSUGO期待の伊藤真一と須貝義行も含まれている。その権利は上位2チームのみに与えられる狭き門となっており、今回権利を獲得できない場合は、5月21日(日)開催される鈴鹿サンデー第2戦のファイナルステージがラストチャンスとなる。

JSB1000クラスの決勝は、120マイル、SUGOを52周する長丁場で争われる。給油のためのピットインがマストのセミ耐久となるだけに、通常のスプリントレースとは違う、チームの総合力も要求されることになる。決勝日朝に30分で争われる公式予選での結果も気になるところ。ライダーがマシンに駆け寄るル・マン式スタートが始まるSUGO SUPERBIKE 120 miles ENDURANCE RACE。表彰台の中央に上がるのは、中須賀か!? 高橋巧か!? 津田か!? それとも!?

J-GP3
All JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

小室旭がヘビーレインでポールポジション! 「決勝は自信を持って臨み、最高の結果を出したい」



小室旭

朝から大粒の雨が落ちる中、全日本最初となるJ-GP3クラスの予選セッションが始まった。当初は霧も深く、40分のセッションでコンディションがどう変化するか分からない中、小室旭がトップに立つと5周目に1分49秒176をマークしてタイムを更新。宇井陽一、白石玲菜、伊達悠太、古市右京らが上位に位置する。中盤、ユースカップの福嶋佑斗が50秒156で2番手に浮上、伊達も50秒926と50秒台に入れて3番手、栗原佳祐、船田俊希らも順位を上げてきた。

セッションの中盤以降は霧こそ薄らいだものの、雨が激しくなり上位陣の多くがピットで待機。終盤にかけて雨が若干落ち着いたタイミングでタイムアタックするライダーが現れ、長谷川聖、中島元気が最終中盤でタイムを更新、それぞれ6番手、9番手にポジションアップした。結局、早々にただ一人49秒台をマークした小室がポールポジションを獲得。2番手に福島、伊達と続きフロントロウ、宇井、栗原、中島、白石、船田、長谷川の順となった。



ポールポジション:1分49秒176
#17 小室旭
Team P.MU 7C

『開幕戦筑波のレースが雨だったので、データはありませんでしたし、マシンはチームがしっかり仕上げてくれているので、それほど緊張しませんでしたね。3年前の鈴鹿でポールポジションを獲得して以来ですが、そのときも雨でした。セッション序盤で、まずはタイムを出してビッティンしてアジャストしていたら、雨が強くなってきたので様子を見ていました。残り5分で雨の感触をつかみたいと思いコースインしましたが、決勝は、雨でもドライでもトップ争いができるように、いろいろ準備しているので、ぜひ最高の結果を出したいですね』

JP 250 Presented by DUNLOP
QUALIFYING & RACE
REPORT & RESULT

予選は南本宗一郎が逆転でポールポジション! 決勝レースはコンディション悪化で中止に

土曜日の9時から行われたMFJカップJP250選手権 第2戦の公式予選は、大粒の雨が降り続く中のセッションとなった。中盤にかけてタイムも上がり、トップはNinjaを駆る#9森俊也(INT)の1分58秒658。それまでのトップ#26田中敬秀(NAT)がマークした59秒673を大きく上回るタイムだ。しかし、じわじわとタイムを削ると同時に順位も上げてきた#22の女性ライダー橋本翼(NAT)が残り5分あたりで58秒487をマーク、自身初のトップに立つ。

しかし、同じタイミングでタイムを上げてきた全日本ST600とダブルエントリーする#40南本宗一郎(INT)が58秒台に入れて2番手に浮上すると、さらにチェッカーフラッグを受けると同時に58秒180をマークして一気にトップを逆転してポールポジションを確定した。

15:10スタートが予定されていた決勝レースは、全日本J-GP2の予選開始と同時に発生した濃霧が晴れず、悪天候のために中止が決定した。

なお、ポイントは、予選終了後の中止に伴い、予選結果に応じてハーフポイントで下記の通り付与される。

●INTクラス =

上位6位まで、ハーフポイントにて付与。

●NATクラス =

上位10位まで、ハーフポイントにて付与。

公式予選結果

●5月13日(土)予選 天候/雨 路面/ウェット 出走32台

Pos	No	Cls.	Rider	Team	BestTime
1	40	I	南本 宗一郎	AKENO SPEED・YAMAHA	1'58.180
2	22	N1	橋本 翼	51GARAGE teamIWAKI	1'58.487
3	9	I	森俊也	TRICK STAR club	1'58.657
4	13	I	藤村 太機	TRICK STAR Club	1'58.847
5	90	I	藤井 謙汰	テルル・MotoUPレーシング	1'59.200
6	26	N2	田中 敬秀	7Cエムズホー・AMissionMovers=NTR	1'59.673
7	46	I	小谷 咲斗	TEAM ALTEC NECTO T-Craft	1'59.695
8	11	N3	豊島 智博	ライダーズサロン横浜	2'00.057
9	31	N4	横山 尚太	ガレージL8 RT&Shop Union東北	2'00.117
10	19	I	久保 直諒	Titanium Power Racing	2'00.387
11	73	N5	上原 大輝	CLUB HARC-PRO	2'00.864
12	8	I	阿部 徹郎	PJ1・ガレージL8 SUT	2'01.052
13	54	I	亀井 駿	T.Pro Innovation	2'02.020
14	4	I	吉澤 隆	CLUB KENJIN&Pentagram&PLUSu	2'02.358
15	61	N6	折川 翔馬	DOG FIGHT RACING-YAMAHA	2'02.621
16	81	N7	中原 美海	RAPID BIKE Team miu	2'02.946
17	7	N8	内山 寛	E・P・S Racing L8	2'03.144
18	23	N9	砂辺 孝太	Spike&Kurodaya	2'03.155
19	77	N10	豊島 怜	DOG FIGHT RACING-YAMAHA	2'03.221
20	20	I	笠井 悠太	TEAM TEC.2	2'03.498
21	79	N11	梅田 虎太郎	ファイヤーガレージ	2'03.614
22	43	N12	菊地 平	TEAM・WILD☆HEART	2'04.056
23	16	I	高谷 純平	TEAM TECHNICA	2'04.317
24	35	N13	小椋 華恋	キジマKISSレーシングチーム	2'04.676
25	91	N14	小林 誠	ARTWORKS・誠れーしんぐ。	2'05.125
26	38	N15	加藤 祐樹	KKR+Raccy	2'05.608
27	18	N16	阿部 雄大	PJ1・あべスピ・ヤマハ&ガレージL8	2'08.845
28	74	N17	小松 敏洋	SJルイーズ+シバテック+荒谷M	2'09.850
29	14	N18	高橋 一市	MOTOTEC-R4	2'10.302
30	96	N19	齋藤 鉄雄	club-tribe	2'10.697
31	86	N20	青木 義洋	MOTOTEC-R4 横江塾	2'10.809
----- 以上予選通過 -----					
	97	I	佐野 優人	CBR300R	計測未出
予選通過基準タイム (総合:120%)2'21.816					



南本 宗一郎



橋本 翼



森 俊也



昨年の雪辱を果たしたい生形秀之と 耐えるレースの水野涼。予選&レースの行方は？

開幕戦筑波は2レース制で行われたJ-GP2クラス。ここでダブルウィン飾ったのがクラス2年目を迎える水野涼だった。しかし、水野は、鈴鹿2&4に向けたテスト走行で転倒し背中を痛めてしまう。今回のSUGOラウンドへの出場も危ぶまれたが、驚異的な回復を見せ参戦しているが、痛みをこらえての走行となっている。

金曜日の練習走行では、生形秀之が1分30秒337と自身の持つコースレコード(1分30秒297)に迫る好タイムをマーク。初日にトップタイムを記録した岩崎哲朗も転倒はあったものの1分30秒377を1本目にマークするなど好調。関口太郎、榎戸育寛も1分30秒台をマークし優勝を狙っている。水野は、1分31秒064で5番手とケガの癒えていない状態ながら健闘している。柴田陸樹、井筒仁康、石塚健のRS-ITOH勢も調子を上げてきており、トップ争いに加わってくるか!? また、スポット参戦の伊藤勇樹もスタンダードのYZF-R6にダンロップスリックという自身がメインにしているアジアロードレース選手権と同じパッケージで、どこまで上位に食い込んでくるか注目だ。



生形秀之



初優勝を今回こそ達成したい前田恵助 スポット参戦の横江竜司が、それを阻むか!?

雨となった開幕戦筑波では、雨に強い星野知也が優勝し、2位に前田恵助、3位に全日本デビュー戦となった高橋英倫の秘蔵っ子・奥田教介というトップ4だった。今回のSUGOラウンドは、前田が速さを見せているが、スポット参戦の横江竜司も2015年全日本ST600チャンピオンの実力をまざまざと見せている。

木曜日は、横江がただ一人1分31秒台に入れトップタイムをマーク。金曜日の走行では、前田が1分31秒833をマークしトップにつけるが、横江も2度転倒したにもかかわらず1分31秒874と肉薄。今のところ、ドライでは、この2人が抜きん出ている状態だ。

これに清末尚樹、和田留佳のRS-ITOH勢、岡本裕生の若手3人が1分32秒台で続いており、トップの2台に、どこまでついていけるかがカギを握るところ。名越哲平、國峰琢磨、星野知也、田所隼といったHonda勢も食らいついて行きたいところだろう。雨になれば、またも星野が強さを発揮するかもしれない。

今回、JSB1000、J-GP2、ST600の3クラスは土曜日の公式予選が悪天候で決勝日に順延された。予選からしっかり観戦できるチャンスだ、見逃せない!!



前田恵助

◆決勝日のスケジュール(一部のレースでスタート時間・周回数が変更されています)

5月14日 日曜日	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
ウォームアップ走行		J-GP2									
公式予選		J-GP2	JSB1000	ST600							
スタート前チェック				JSB1000 J-GP2予選	大会事務局						
スタート進行				J-GP2	J-GP2						
決勝レース			J-GP2 18L	J-GP2 18L		JSB1000 120mile RACE 82L(134km)		ST600 18L			
仮表彰				決勝後記者会見はプレスルーム(10ナース2F)	記者会見	記者会見		記者会見		記者会見	
ピットワーク						ピットワーク					
プレス/TV走行											

※タイムスケジュールは、変更又はその他の理由により変更される場合があります。予めご了承ください。

【大会事務局 発行】



●予選:天候/雨 路面/ウェット 出走21台
●決勝スタート/10:20(18周)

Pos.	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	17		小室 旭	Team P.MU 7C	NSF250R	1'49.176
2	36	y	福嶋 佑斗	TEAM PLUSONE	NSF250R	1'50.156
3	64	y	伊達 悠太	BATTLE FACTORY	NSF250R	1'50.926
4	41		宇井 陽一	41Planning	TR-004	1'51.338
5	2		栗原 佳祐	MORIWAKI CLUB	NSF250R	1'51.511
6	34	y	中島 元気	TEAM SRS-MOTO	NSF250R	1'51.517
7	22		白石 玲菜	Dreamline Team REINA	NSF250R	1'51.671
8	12		船田 俊希	TEAM PLUSONE	NSF250R	1'51.840
9	13	y	長谷川 聖	CLUB Y's	NSF250R	1'52.745
10	7		古市 右京	KTM RACING	RC250R	1'53.121
11	16		野澤 秀典	ノザワレーシングファミリー	NSF250R	1'53.890
12	3		安村 武志	犬の乳酸菌.jp/プリミティブR.T	PRCS3C	1'53.938
13	6		岡崎 静夏	UQ & テルル・Kohara RT	TSR3	1'53.972
14	33		佐野 勝人	犬の乳酸菌.jp/プリミティブR.T	PRCS3b	1'54.111
15	10		山本 恭裕	チームライフ・ドリーム北九州	NSF250R	1'54.197
16	31		荘 安育	SHARK FACTORY aRacer BATTLE	NSF250R	1'54.630
17	410		L_Peerapong	41Planning	NSF250R	1'55.495
18	21		畑中 要	FTR・タイヤナビ・株遠藤住宅	NSF250R	1'56.357
19	14		高杉 奈緒子	41Planning	NSF250R	1'56.566
20	18		大澤 恒貴	team hiro'ck	NSF250R	1'56.957
21	11		太田 虎之進	WJ-FACTORY	NSF250R	1'57.120

----- 以上予選通過 -----

参加台数:21台 出走台数:21台

予選通過基準タイム(110%) 2'00.094

※y=ユースカップ

INFORMATION

RIDE & DRIVE 全てのモータースポーツファンに
向けてレースをお届けします!

全日本ロードレース全戦が無料BS放送のBS12(番組名「RIDE&DRIVE」)で放送されます! 放送時間はレース6日後の土曜日、27:00~27:54。
★詳しい放映スケジュール等はファンサイトで!

■第5戦SUGOスーパーバイク120マイル耐久レース
放映スケジュール

5月20日(土) 27:00~27:54



インターネットライブ中継&動画配信も充実!!

MFJ *Live* CHANNEL

サーキットの場内監視(ポスト)映像に外部カメラ映像をプラス、「MFJライブチャンネル」にて配信。中継配信がより充実しました。※通信環境によりテレビ配信となる場合もあります

YouTube YouTube「MFJ SUPERBIKEオフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信!

詳しくはファンサイトで → <http://superbike.jp/>



モーターサイクルスポーツで
もっと輝く女性に!!

女性参加者の育成・増加を目的に、モーターサイクルスポーツやバイクの面白さを伝えるために誕生しました。モーターサイクルスポーツに関わる女性の皆さんが知りたい情報を入手したり、情報交換する場としてご利用下さい。

motoladies.jp 誕生

モトレディース・ドット・ジェイビー

MOTO LADIES はモーターサイクルスポーツに関わる女性を応援するサイトです。



出来ること-1 活動の発表・報告!

開催・参加したレース、競技、走行会、ツーリングやライダーミーティング、チャリティイベント等の活動の発表・報告を行なう事ができます。

出来ること-2 支援を募る!

レース・競技活動のためのスポンサー募集、商品のご協賛を募ります。

出来ること-3 仲間を見つける!

SNSによる相互コミュニケーションを通じ、一緒にモーターサイクルスポーツを楽しみたい仲間を見つける機会が作れます。

SUPPORTER
募集中!!

女性のモーターサイクルスポーツへ
女性からの声援が必要です!

MOTO LADIESの「Supporters」に登録して女性ライダーにエールを送ったり女性モーターサイクルコミュニケーションの輪を広げませんか?

スポンサー募集中!!

女性の社会進出が加速している現在、モーターサイクルスポーツの世界にも、レースや競技に参加しているライダーを始め、チーム運営やプレス関係など様々な形で女性たちが活躍しています。MOTO LADIESでは、レース・競技活動のためのご協賛スポンサーを募集しております。
☆お問い合わせは contacts@motoladies.jp まで



全日本J-GP3クラスで
活躍する女性ライダー

(写真左から)
#6 岡崎静夏
#14 高橋奈緒子
#22 白石玲菜



井形ともさんが、
"FIM女性レジェンドライダー"として
表彰されました。

女性ライダーとして世界GPに2年間フル参戦し、女性最高位を達成した功績によるもので、日本人として初めての受賞です。
※詳しくは www.motoladies.jp